

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(主)坂城インター線				
事業毎の通番		1	市町村名	坂城町	箇所名(ふりがな)	中之条(なかのじょう)			
事業概要	事業目的	(主)坂城インター線は、上信越道坂城インターと国道18号とを結ぶ幹線道路である。国道18号では、千曲市及び坂城町市街地内の狭い幅員や慢性的渋滞を解消するため、坂城更埴バイパスが建設中である。このため、本路線の国道18号バイパスまでの延伸は、ネットワーク構築のため必要不可欠である。本計画の区間は、将来の計画の一部であると同時に、テクノさかき工業団地と坂城インターを直接結ぶ事業であり、地域の経済活動活性化に大きく寄与するものである。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	坂城都市計画区域マスタープラン、国道18号バイパス事業							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：6,000台/日(H42推計)							
	着手年度	平成27年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	1.4		国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工程)	道路築造工 L=400m、W=6.5(16.0)m			1,600,000	960,000		576,000	64,000	
27年度事業内容(主な工程)	路線測量一式、道路詳細設計一式 用地買収一式			30,000	18,000		10,800	1,200	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間・経費等の減少 20億円 緊急輸送路の整備、通学路対策							
	間接的効果(定量的・定性的)	産業支援による地域活性化 地域間交流の促進							
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：代替道路があるが安全性が低い ○交通結節点アクセス：テクノさかき駅、坂城インターチェンジへのアクセス道路 ○生活支援：国立病院機構信州上田医療センターとの連携が発揮できる道路 ○地域の活性化：テクノさかき工業団地等、市街地の活性化に資する						評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン 事業着手 ○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(1次) ○地域指定：信越観光圏						評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.4 ○事業期間：6年(H27~H32) ○工法等の比較検討：コスト縮減に関する工法比較検討あり ○他事業との連携：国道18号 坂城更埴バイパス 関連						評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数：H23:6件、H24:5件、H25:2件 ○渋滞及び騒音・振動の緩和：坂城インター入口の渋滞が緩和される(移動性阻害箇所の解消) ○歩道整備：通学路対策(現在の通学路を新設道路に振り替え、通学児童の安全を確保する) ○現況の幅員、半径、勾配：現況アクセス道路(町道)幅員5.5m未満、曲線部拡幅量が不足。						評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者以外にも周知(地元説明会と地区回覧により広く周知) ○地域の取り組み：協力的である(坂城町から要望がある) ○地域の合意形成：事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働：今後住民の関与が見込まれる						評価	B
	部意見	事業の必要性、重要性、効率性、緊急性が高いため、平成27年度から事業化したい。	行政改革課意見	坂城インターと国道18号とを直結する重要な幹線道路であることから、重要性が高く、必要性も認められる。	評価結果	総合評価			
				○	A				

事業概要説明図表	位置図			
	平面図			
	交通状況			
	道路横断面の構成			
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	・(主)坂城インター線は、テクノさかき工業団地から国道18号や上信越道坂城インターへのアクセス機能の強化、および慢性的な渋滞が発生している国道18号からバイパス区間(坂城更埴バイパス)へのアクセス機能の確保が課題となっており、坂城更埴バイパスの整備にあわせて、当該路線の延伸し、地域全体の安全で円滑な道路ネットワークを確保することが、地域から強く求められている。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	・平成11年度、坂城町長から要望が挙がり、以降、毎年要望活動がある。		
	③事業説明等の経緯	・平成25年9月、地元説明会開催。事業について了解を得るとともに、早期着手を求められた。		
事業周辺環境	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	・しあわせ信州創造プラン「事業着手」 ・坂城都市計画区域マスタープランの主要幹線道路に位置付けられている。 ・接続する国道18号では、国土交通省により上田坂城バイパスが平成22年3月に完成、坂城更埴バイパスが平成23年度に事業化されている。		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・路肩部の土留は構造物でなく土羽構造とし、緑化を図る。		
	⑥地域活性化への影響と配慮	・駅への利便性向上による暮らしやすい生活環境の形成、及び工業団地等へのアクセス性の向上による地域産業への支援効果が期待される。		
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 26' 39" 32 東経:E 138° 11' 16" 9	